

第30号

編集・発行人
 学校法人 横浜清風学園 芙蓉会
 〒240-0023
 横浜市保土ヶ谷区岩井町447番地
 TEL: 045-731-4361(代)
 FAX: 045-716-0202
 http://www.y-seifu.ac.jp/

印刷所 合資会社 横浜 大気堂
 横浜市中区真砂町4-40
 TEL: 045-641-4161
 FAX: 045-681-0957

芙蓉会会報

新たな試み



芙蓉会会長 石渡 富美子

今年の四月に熊本で大きな地震があり、活断層による最大7の強い揺れが繰り返し起き、一ヶ月以上も続きました。
 弱い地盤と古い木造住宅による家屋の倒壊が八万棟以上にのぼることでした。一時は十八万人もの人が避難され、水道・ガスも止まり、まだ余震が続く

なか、建物の倒壊を恐れて車中泊をしたり、避難所生活だったりと、大変なご苦労をされたようです。心よりお見舞い申し上げます。私も今、北武断層の上に住んでいますが、此処も地震研究所で調べた結果、震度6弱以上の揺れが予想され、今回の熊本の被害を見ますと、防災についての意識が低いことに気付かされました。日頃から防災に対する意識を持っていなければと反省しています。

花開け！グローバル世代



校長 齋藤 一

平成二十六年、校長に着任早々お祝いのメールを頂戴した。それもアメリカからである。期待に胸膨らんでメールを開けて、更に心が躍った。送り主は、高校一年時、私のクラスになった女生徒からであった。彼女を思い出す時は必ず福豆がストープに入った香ばしい匂いが演出を加え、その映像と共に蘇って来

る。節分の朝、ホームルームに入った時のその匂いである。
 その時の彼女が、今やアメリカ・ロサンゼルス州オレンジカウンティにある公立総合大学サンタアナ・カレッジで経営学者として教鞭を取る地位にあり、留学生受け入れの最高責任者であることを知らされたのだ。また、現在は大学での職務以外にも次世代育成に力を注ぎながら世界を股にかけ活躍していることを知った。そのアメリカンドリームの実現に、思わず拍手を贈った。

さて、この度、芙蓉会での念願でありましたホームページを立ち上げることが出来ました。これからは多くの卒業生の皆様からの情報やご提案などをお寄せいただければ母校との親睦を図ることが出来ると思います。生徒も地域のボランティア活動に参加したり、又、学習面でも国立大学への現役合格者や七十パーセント以上の生徒が大学進学をしております。これからの活躍が楽しみです。



それ以後、彼女は帰国の際には毎回母校へ訪問をしてくれている。昨年の学校案内の際、ダンス部の活動を見ていた彼女がある後輩を見て、アメリカの大学ならばダンス技能を磨きながら理論を学び、更に専門性を高めることによりエンターテイメント業界などへのインターンシップも可能であると語ってくれた。生徒の秘めた可能性を引き出すだけでなく、進学の実績も大きく広がるのである。そのご縁で今年三月卒業した生徒が指定校推薦で公立総合大学サンタアナ・カレッジへと進学した。
 グローバル世代、多方面で活躍の諸氏に母校の後輩のためには是非お力をお貸し頂きたい。

～ インフォメーション ～

■ 学校説明会

- 第1回 10/22 (土) 10:00~11:15
- 第2回 11/12 (土) 10:00~11:15, 13:30~14:45
- 第3回 11/26 (土) 10:00~11:15, 13:30~14:45
- 第4回 12/ 4 (日) 10:00~11:15

■ 夜間相談会 11/18 (金) 17:30~19:00

清風祭のご案内

文化祭：10月1日(土) 10:00~14:00

- ◆ お車での来場はご遠慮願います。
- ◆ 校舎内・外“禁煙”です。ご協力ください。

おしるこ屋さんやっています!



お世話になった先生方(退職者)



感謝と思い出

体育科 河西 茂

四十数年間の教員生活を大過なく勤められることが出来ましたこと、同窓会の皆様はじめ学園関係者のご支援のお陰と感謝しております。

本年度より、齋藤校長のもと、上位校に向けた新たな改革がスタートのようです。学園の更なる発展を願っております。

例えば、石難坂を大きなバツクを持ち、ソフトボール部の黒沢先生のお誘いを受け、合宿への参加が始まりました。長い教員生活の中で、数多くの思い出と経験を生徒の皆さんから頂くことが出来ました。中でも、大阪でのインターハイ出場は夢の



常勤講師

鈴木 聖 矢 (数 学)

非常勤講師

千葉 桜子 (社 会)
齋藤 耕一郎 (数 学)
鈴木 弥生 (理 科)
岡田 真琢 (英 語)
太田 真理 (英 語)
梁川 厚雄 (情 報)

嘱 託

今井 美希 (ダ ンス)

母の想い

◆平成三年三月卒業

野秋 悦子

月日が流れるのは早いもので、卒業してから二十五年が経ちました。昨年、息子が母校に入学し、お世話になっております。今は横浜清風高校ですが、私が在学していた当時は明倫高校でした。母校の一番の思い出は、登校で必ず上る坂道です。入学したての頃はものすごく辛く、学校に到着した時はとても疲れていましたが、一週間も過ぎれば辛かった坂も余裕で上がることが出来ました。現在は保護者会などで数ヶ月に一度上がるくらいですが、やはり坂道はきついです。一番目の思い出は、校則が厳しかったことです。横浜清風高校となった今、規則が緩やかになったのには驚きました。きつと、これも時代の流れなのでしょう。

◆平成五年三月卒業

田辺 良子(旧姓 杉浦)

高校を卒業し、早二十余年が経ちました。当時は女子校で、少し古びた円形校舎、運動場には観戦スタンド付のグラウンドがありました。今ではその光景も様変わりし、体育館にいたってはアリーナとなり、昔以上に文武両道に注力出来る環境となり、嬉しく思います。

そんな母校に娘が入学し、この設備の中で学べる事は、この多感な時期に大きな期待となっています。自分が学生の頃は規律が厳しく不満をよく言っていたものですが、いざ親となり、子を学ばせる立場となった今では、当時の厳しかったことは間違っていないのだと感じています。

そしてなによりも当時からお世話になっていた先生方がいらっしやるという事は親にとっても大変心強い存在です。調理部だった私と同じ部活を選んだ娘。そして顧問の村上先生も一緒。嬉しさと安心の二重の喜びを感じています。今だから学べる事、今しか学べない事を沢山吸収して、楽しい三年間を過ごして欲しいと心から願っています。

芙蓉会 ホームページ完成!
http://www.ys-fuyoukai.jp

右記が芙蓉会ホームページのアドレスです。構想から5年、やっと実現できました。

世の中がアナログ社会からデジタル社会へと移り変わっていく中、芙蓉会では年一回の会報発行により、卒業生目線で見える母校の様子などを綴ってきました。しかし、世の中の状況が変わった今、情報伝達はスピーディーでタイムリーでなくては役に立たなくなってしまうモノも数多くあるのではないのでしょうか。ホームページを活用し、卒業生に興味深い情報をお伝えできるようにしたいと思っています。

クラス会開催のお知らせや、社会で大活躍している著名人の卒業生、また退職された先生方の情報など、掲載を考えています。このホームページを通して、卒業生が情報を共有できることを願っています。



平成二十八年春の叙勲で、本校の理事である和田大雅先生が瑞宝双光章を受章されました。おめでとございます。



横浜清風高校在校生 及び卒業生への願い

本校理事 和田 大雅

平成十三年春に校名を横浜清風高校と改名してから早くも十五年が過ぎようとしています。

この間、学校役員、教職員、芙蓉会、PTA等多くの皆様のお陰で校舎も立派に完成しました。私は世間の方から本校の生徒が学力の増進のみならず、礼儀作法、言葉遣いもよくなった、

と聞き大変喜んでいました。

ところで話題を変えますが、我が国は近年、無縁社会、少子高齢社会といわれています。無縁とは人と人との関係が希薄になつていくことで、先祖、親子、近隣の人々等の間でも生じています。こうした現象は現在、日本国内でも急速に進んでいます



平成二十七年秋の叙勲で、本校の前校長である是枝匡輔先生が瑞宝双光章を受章されました。おめでとございます。



海よりもなお深く

前校長 是枝 匡輔

昨年、一〇七歳で私の母が亡くなりました。明治・大正・昭和・平成の四世代をたくましく生き抜いた母でした。私たち兄弟は幼い頃にあの戦争が終わり、外地(満州)から着の身着のまま引き揚げてきたので

す。食べるものは「さつま芋」しかなかった中、母は芋をつぶして型にはめ、食紅などで着色し、色とりどりの華やかな芋弁当を持たせてくれたので、周りから羨ましがられたものです。夕闇の銭湯の帰りに母は「歩

が、人口の減少は私たちの将来にどのような悪影響をもたらすか、皆様にはおそらく予想がつくことと思われまふ。私は今少し違った視点から将来の日本が先進国の中で国民等の特性を生かし、現在のような位置を保つことが可能と考えております。それは次の五点です。第一に我が国には四季があり自然の美しい国であること。第二に医療から教育に至るまでレベルの高い世界一の長寿国であること、第三に識字率が世界一の高さであること、第四に太平洋戦争後の七十一年間、国民が一人として戦争で死んでいないこと、第五には日本人は特有の宗教的感性

をもっていることです。弘法大師は日本仏教史の中でも傑出してゐる名僧ですが、この宇宙は仏の深秘なるはたらきであることを世に住む人々にはつきりと知らせ、苦しんでいる人々、悲しんでいる人々を永久に救つていきたい、という誓願をたてられたのです。その大師の祈りは今なお高野山の奥の院にあつて灯し続けられています。このような信仰は一千二百年も続いています。今後、国民がこのような信仰を尊重維持することにより、少々の苦難は克服できるのではないかと信じます。どうか学生、卒業生の皆様、弘法大師の教えに触れてください。

恒例、秋の「芙蓉会バス旅行」を企画いたしました。今年度はちょっと趣を変えました。前田家本邸見学・歌舞伎座にて舞台で登場するあれこれを見て触り、その後、東京湾でのクルージング、大江戸宴舞を鑑賞、ランチ・浅草と盛りだくさんの企画をご用意しました。皆様のご参加をお待ちしております。

記

- 日時 ▶ 平成28年11月3日(木祝) AM8:20 集合(厳守) 8:30 出発
 - 集合場所 ▶ 横浜駅西口天理ビル前
 - 参加費用 ▶ 6,000円 同窓会より補助後の金額(バス代・昼食代・乗船代・観劇代他)
 - 申込方法 ▶ 横浜清風高等学校 事務所 吉田までご連絡ください。《先着35名》
- ☎ 045-731-4361 受付時間 平日9:00~16:30



**親睦
バス旅行**



平成27年度 横浜清風高等学校同窓会会計報告書

平成28年度 同窓会会計予算書

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 収入額, 備考. Title: 収入の部 H28.3.31 (単位:円)

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 備考. Title: 収入の部 H28.4.1 (単位:円)

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 支出額, 備考. Title: 支出の部

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 備考. Title: 支出の部

上記の通り報告致します。

平成28年3月26日

台帳と相違ないことを確認致しました。

会計監査員

荒海由美子



28年度 会費納入のお願い 年会費 1,000円

芙蓉会会報に同封の振込用紙にて、12月末日までに納入、又はご来校の際にご持参ください。

Table with 2 rows of membership numbers and names for the 28th fiscal year.

平成二十七年 度 会費納入報告



部活動報告 音楽部

顧問 日臺 史恩

音楽部は歌を中心に学びながら活動しています。校内の食堂を使った夏・冬のコンサートや、文化祭等での発表を始めとし、仏教主義連盟親睦音楽会、子供防災キャンプへの出演など、少しずつ活動の場を広げていきます。生徒たちに、音楽活動を通して協調性や自己表現力を身に付けてほしいと願い日々指導しています。



▲サマーコンサートの様子

編集後記

毎年の会報編集会議では、今年は何を載せようかと苦慮しつつ早くも三〇年節目の年を迎えることができました。三〇年間、校長先生をはじめ原稿のご協力をいただきました皆様にご場を借りて感謝いたします。ありがとうございました。